

第12回

戦略的なお中元ギフト ～取引先相手との関係を深めるために～



Profile プロフィール

大丸東京店 ギフト・商品券担当

岩崎美佳

ギフトアドバイザー1級。ギフト・商品券販取扱いのキャリアは10年以上におよぶ。習わしに沿った好適品の提案にとどまらない、「今の時代背景も踏まえた、より良い提案」がモットー。

飲料の詰め合わせや冷菓が「企業同士のお中元」の定番

お中元は季節的に、ビールや野菜・フルーツジュースなど飲料の詰め合わせ、小分けにしやすい冷菓を選ばれる方が目立ちます。定番であっても、メーカーや産地にこだわった商品、健康志向の商品など、贈る側の気遣いが伝わるものも人気です。ただし、夏場ですので冷凍・チルド配送になる品は要注意。会社宛ですと保管場所の心配もありますし、ご不在がちだとなかなかお届けできず賞味期限が迫ってくることもあるので、情報があまりない場合は常温で保存できる品をおすすめします。

相手先のことを考えながら選んだ品であることが重要

贈り物選びには相手先の情報が肝心です。会社宛なら従業員数や保管場所の有無、少人数の場合やご自宅宛なら、家族構成や嗜好品についても押さえておきたいところ。お子様はいらっしゃるか、お酒・コーヒー・紅茶はお好きか、健康上の理由で甘い物や塩分などを控えていないか…せっかくですから皆様に楽しんでいただける品を選びたいですね。贈り物はなにより「相手先のことを考えながら選んだ」ことを伝えることが大切です。あまり情報がなく無難な品を選んだとしても、持参する際に「いろいろ悩んだのですが」「お好みがわかりませんでしたので」とひとこと添える、配送であれば送り状（添え状）を用意すると、気持ちが伝わると思います。

商品券・カタログギフトには気持ちの伝わるメッセージを添えて



アメリカン・エクスプレス発行の
[百貨店ギフトカード](#)

お好みがわからない場合には、商品券・ギフトカードやカタログギフトも選択肢のひとつ。お財布やパスケース、名刺入れにもスッと入るサイズなので、荷物の少ない男性の方に喜ばれます。ただし、金額がわかる贈り物ですから、これもまた心遣いがポイントになります。送り状やお名刺に「お好みがわかりませんでしたので、これで旬のものなど召し上がっていただき、夏を乗り切ってください」といったメッセージを添えてもいいですし、商品券・ギフトカードを乗せるお盆に代えて、ちょっとした菓子折を添えるのもより丁寧な贈り方とされています。